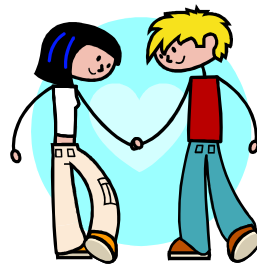


第 15号

人権協だより

平成 21 年 10 月 15 日

発行 内部地区人権教育推進協議会
(内部地区市民センター内)



「人が人として尊ばれ、住んでよかった、

住んでみたいまち・うつべ」を目指して 10 年

内部地区人権教育推進協議会

会長 木田 富喜二

平成 12 年 7 月 5 日に、「内部地区人権教育推進協議会」(略称:人権協)が産声を挙げたことは既にご案内のことで、今更の感がします。当地区には昭和 56 年から人権尊重の啓発活動を推進する組織が存在し、活発に活動をされていました。しかし、組織的に継続性が乏しく、一過性で前年度踏襲の感が強く、発展性に乏しい事業計画で、人的継続性も同様の状態であることを憂いて、一年間の協議を経て、組織改革を起点として誕生したのであります。

それから早いもので、本年度は 10 年目を迎えることになりました。その間の中心的事業は、人権尊重の意識の変革を求めている「地区懇談会」を、延べ 48 会場(本年度開催予定の 6 会場を含めると 54 会場)で開催し、アンケートをいただいた方が 1,099 名にのぼりました。

さらに、地区文化祭でも中学生の協力を得て、5 周年を記念して「人権啓発コーナー」を設置し、ここでもアンケートをいただき、毎年 200 名前後の方より建設的な意見を聴取させていただきました。

その他、「人権尊重標語」の公募を 2 度実施し、多くの作品をいただき、1 回目の最優秀作は、地区市民センター前の啓発塔に掲示し、2 回目のものは、幟として、これもセンター前に常設し啓発を行っております。

この間、常に委員の皆様にお願ひし続けてきたことは、「人権教育は、人権協のための課題ではなく、住民一人ひとりの大切な課題であること。誰しもが楽しい生活を願う基盤の一つが人権教育である。そのためには、当協議会を始めとして多くの人権啓発行事への参加は、委員だけのものではなく、委員から近隣への広がりや誘いが大切であること。」をお願いしてまいりました。

このような諸活動を支えていただいたのは、連合自治会を中心として各町自治会の役員の皆様であり、地区住民の皆様であることは言うまでもありません。なかでも人権協委員として活躍いただいた方々のお陰と感謝いたしております。この 10 年の間に委員として活動していただいた方は、延べ 579 名で、実質 326 名にお世話になりました。

このような経過を経て、10 年目を迎えた今年、11 月 14 日(土)に、落語家 桂 ひな太郎さんを迎えて『笑って学ぼう!身近な人権』を、記念事業として開催することになりました。地区皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは、裏面をご参照下さい。

最後に皆様にご支援いただいたことに感謝し、今後も倍旧のご支援をお願いいたします。

[裏面もご一読ください]

笑って学ぼう！身近な人権

「人権協発足10周年記念公開啓発講座」を次のとおり開催します。お友達をお誘いのうえお気軽にお越し下さい。

開催日時 平成21年11月14日(土)
13:00~15:30
場所 内部地区市民センター 別館2階ホール
参加対象 どなたでもお越しください。
無料です。(事前の申込みは必要ありません)

落語家 桂 ひな太郎 の男女共同参画落語



エ〜、江戸時代には士農工商と言う身分制度がございまして、侍だけが大変に威張っておりました！そこで面と向って文句を言えない庶民は芝居や落語を通して侍達の司である大名の無知蒙昧を笑って日頃の鬱憤を晴らしておりました。

妾馬の主人公 八五郎が侍を相手に繰り広げる涙と笑いの物語 お楽しみに！

メウマ

(演目)「妾馬」他一席

パネルディスカッション

助言者 市川 典子氏 (四日市市男女共同参画センター参事・課長)

パネリスト 桂 ひな太郎氏 (落語家)

木田 富喜二氏 (内部地区人権教育推進協議会会長)
司会) 富島 正昭氏

主催 内部地区人権教育推進協議会
共催 内部地区市民センター
四日市市男女共同参画センター

☆無料託児があります。11月6日(金)までにセンターに予約してください。

問合わせ 内部地区市民センター TEL 347-1219